

擁壁工における「補強土壁」 の工法比較検討について

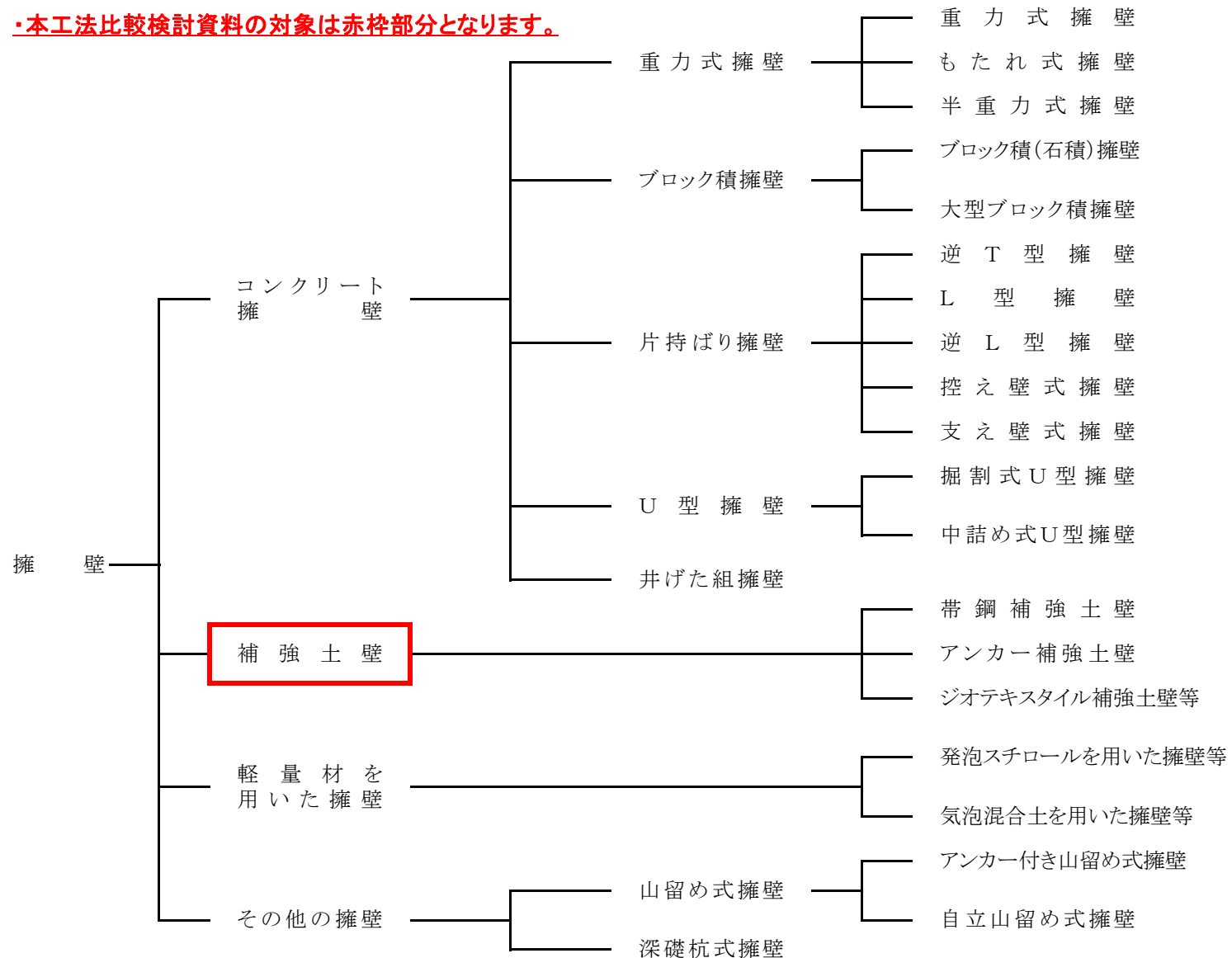
企画部 施工企画課
九州技術事務所

【本事例の注意点】

- この工法比較検討の事例は、平成29年7月3日付のNETIS検索データを用いています。
- この工法比較検討の事例は、「キーワード検索」と「工種検索」を用いています。
- その理由は、キーワード検索のみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索を行っています。
- NETIS掲載期間終了技術も工法選定の対象としています。
- なお、本検索はあくまでも例であり、実際の設計におかれましては、各設計者等でより良い工夫を願います。

擁壁の種類

・本工法比較検討資料の対象は赤枠部分となります。



1. 新技術活用における工法選定の作業フローおよび作業内容（案）

作業フローおよび作業内容

1. 現場条件の設定

1-1. 現場条件の設定

図面、数量及びその他の資料より、現場条件を確認し、工法選定の目的を整理する。
※「従来技術」「キーワード」「一次選定基準」「二次選定基準」の設定を行うため、

2. 従来技術の選定

2-1. 従来技術の選定

従来技術による工事を想定し、最も妥当と思われる工種を選定する。
※従来技術は、土木工事標準積算基準書や土木工事標準単価に掲載されている技術又は、特殊な条件で良く活用されている技術等から選定する。

3. 一次選定

キーワード検索

3-1. キーワードの設定

工法選定の目的に合う技術を幅広く検索可能な「キーワード」を2つ程度設定する（絞り込んだキーワードとすると技術の抽出漏れにつながる恐れあり）。

3-2. 一次選定基準の設定

現場の制約条件による絞り込みは行わず、工法選定の目的に合う可能性ある工法を選定できるように設定する。

3-3. キーワードによるNETIS検索および検索結果の出力

NETISホームページにて、キーワード検索を行い出力する。

3-4. 一次選定基準に対する評価および選定

キーワードにより検索された工法は、一次選定基準に基づき、技術名称やアブストラクトより、評価および選定を行う。ただし、これにより判定が難しい場合は、NETIS掲載情報を確認し、評価および選定を行う。
各キーワードにより、同じ工法を重複して一次選定しているため、一次選定工法集計表により整理し集計を行う。

工種分類検索

3-5. キーワードによる一次選定工法の工種分類を抽出

キーワード検索のNETIS掲載情報より、工種分類を抽出し整理する。
※キーワードのみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索する。

3-6. 工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

NETISホームページにて、工種分類検索を行い出力する。

3-7. 一次選定基準に対する評価および選定

工種分類により検索された工法は、一次選定基準に基づき、技術名称やアブストラクトより、評価および選定を行うが、これにより判定が難しい場合は、NETIS掲載情報を確認し、評価および選定を行う。
各工種分類により、同じ工法を重複して一次選定しているため、一次選定工法集計表により整理し集計を行う。

作業フローおよび作業内容

3. 一次選定

NETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)検索

3-8. NETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)検索

3-5.工種分類の抽出で整理した工種分類を用いて、NETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)にて検索を行う。

3-9. 一次選定基準に対する評価および選定

工種分類より検索された工法は、一次選定基準に基づき、技術名称やアブストラクトより、評価および選定を行うが、これにより判定が難しい場合は、開発会社等に確認し評価および選定を行う。

3-10. 一次選定工法の集計

一次選定工法の重複を整理し集計を行う。

3-11. 一次選定工法一覧表の作成

一次選定工法一覧表は、NETIS掲載情報を用いて作成する。

4. 二次選定

4-1. 二次選定基準の設定

現場条件等より二次選定基準を設定するものとし、条件が複数有る場合は各条件毎に設定する。

4-2. 二次選定基準に対する評価および選定

一次選定工法を二次選定基準に基づき、NETIS掲載情報および開発会社等へヒアリング等により、評価および選定する。

5. 比較検討

5-1. 二次選定比較表の作成

二次選定表の作成は、左から「従来技術」「NETIS技術」「NETIS掲載期間終了技術」の順に配置し、現場条件により変動する事項（経済性、工程、施工性等）や施工実績等は、開発会社等へのヒアリング等により作成し、現場条件に関係なく一定の事項（技術概要、特許、事後評価情報、技術の位置付け（有用な新技術））は、NETIS掲載情報より作成する。

6. 結論

6-1. 結論

工法選定における重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

2. 工法選定の事例（案）

〈 道路（高盛土）に適用可能な補強土壁〉

I. 工法選定の概要

工法選定の概要：道路（高盛土）に適した補強土壁の技術の選定を目的とする。

II. 工法選定の作業フローおよび作業内容

1. 現場条件の設定

1-1. 現場条件の設定

道路（高盛土）に適した補強土壁の技術の選定を行うこととし、以下の現場条件を設定した。

- | | | |
|-----------|----------------------|---|
| ① 対象とする工法 | （ 道路（高盛土）に適した補強土壁の技術 | ） |
| ② 対象箇所 | （ 壁高10mを超える高盛土の土留め壁 | ） |
| ③ 目的 | （ 安定性且つ経済性の良い補強土壁の選定 | ） |

2. 従来技術の選定



2-1. 従来技術の選定

現場条件の設定等より、下記の従来技術を選定した。

- | | | |
|-----------|--|---|
| ① 従来技術の選定 | （ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁等） | ） |
| ② 選定の理由 | （ 土木工事標準積算基準書に適用する補強土壁工の掲載があるため。 | ） |

3. 一次選定

キーワード検索

3-1. キーワードの設定

補強土壁を抽出するため、NETIS検索に用いる「キーワード」は下記を設定した。

【キーワード】⇒ [補強土壁]、[テールアルメ]、[ジオテキスタイル]

3-2. 一次選定基準の設定

一次選定では、補強土壁 に該当する技術を選定するため、一次選定に用いる「一次選定基準」は下記を設定した。

【一次選定基準】⇒ [補強土壁に該当する技術]

3-3. キーワードによるNETIS検索および検索結果の出力

検索日時： H29.7.3

キーワードによるNETIS検索の結果は下記のとおりとなった。

【キーワード検索結果】

1. [補強土壁] = 29 件]
2. [テールアルメ] = 8 件]
3. [ジオテキスタイル] = 28 件]

例としてP11

3-4. 一次選定基準に対する評価および選定

キーワードによるNETIS検索の結果に対し、一次選定基準に基づき、アブストラクトやNETIS掲載情報より、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

【キーワード検索結果】

1. [補強土壁] = 13 件]
2. [テールアルメ] = 4 件]
3. [ジオテキスタイル] = 8 件]

キーワードによる一次選定工法において、同じ工法の重複を整理し以下の件数となった。

整理結果 ⇒ 「 13 」件

例としてP12



検索結果の技術の工種分類を抽出

3-5. キーワードによる一次選定工法の工種分類を抽出

一次選定工法のNETIS掲載情報より、工種分類を抽出し整理した。
※キーワードのみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索した。

【工種分類】

1. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - その他
2. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - テールアルメ工
3. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 連続長繊維補強土工
4. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 多数アンカー工
5. 共通工 - 擁壁工 - コンクリート擁壁工
6. 共通工 - 擁壁工 - プレキャスト擁壁工
7. 共通工 - 擁壁工 - 石・ブロック積(張)工 - 石積(張)工
8. 共通工 - その他
9. 河川海岸 - その他
10. 土工 - その他
11. コンクリート工 - その他

3-6. 工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

工種分類によるNETIS検索の結果は下記のとおりとなった。

検索日時： H29.7.4

【工種分類】

1. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - その他
2. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - テールアルメ工
3. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 連続長繊維補強土工
4. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 多数アンカー工
5. 共通工 - 擁壁工 - コンクリート擁壁工
6. 共通工 - 擁壁工 - プレキャスト擁壁工
7. 共通工 - 擁壁工 - 石・ブロック積(張)工 - 石積(張)工
8. 共通工 - その他
9. 河川海岸 - その他
10. 土工 - その他
11. コンクリート工 - その他

【件数】

- = 14 件
- = 3 件
- = 3 件
- = 1 件
- = 42 件
- = 32 件
- = 6 件
- = 89 件
- = 99 件
- = 44 件
- = 28 件





3-7. 一次選定基準に対する評価および選定

工種分類によるNETIS検索の結果に対し、一次選定基準に基づき、アブストラクトやNETIS掲載情報より、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

【工種分類】	【件数】
1. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - その他	= 9 件
3. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - テールアルメ工	= 1 件
2. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 連続長繊維補強土工	= 2 件
4. 共通工 - 擁壁工 - 補強土擁壁工 - 多数アンカー工	= 1 件
5. 共通工 - 擁壁工 - コンクリート擁壁工	= 2 件
6. 共通工 - 擁壁工 - プレキャスト擁壁工	= 1 件
7. 共通工 - 擁壁工 - 石・ブロック積(張)工 - 石積(張)工	= 1 件
8. 共通工 - その他	= 2 件
9. 河川海岸 - その他	= 2 件
10. 土工 - その他	= 3 件
11. コンクリート工 - その他	= 2 件

工種分類による一次選定工法において、同じ工法の重複を整理し以下の件数となった。

整理結果 ⇒ 「 13 」件



NETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)検索

3-8. 工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

工種分類によるNETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)検索の結果は下記のとおりとなった。

【工種分類検索結果】

[工種分類= 58 件]

例としてP18

3-9. 一次選定基準に対する評価および選定

工種分類によるNETIS掲載期間終了技術リスト(有用な技術、活用の多い技術)検索の結果に対し、一次選定基準に基づき、アブストラクトや開発会社等へのヒアリングにより、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

【工種分類検索結果に対する一次選定結果】

[工種分類= 7 件]

例としてP18

整理結果 ⇒ 「 7 」件

3-10. 一次選定工法の集計

「NETIS技術」

キーワードと工種分類による一次選定(重複整理)の結果、以下の件数となった。

選定結果 ⇒ 「 13 」件

「NETIS掲載期間終了技術」

一次選定の結果、以下の件数となった。

選定結果 ⇒ 「 7 」件

例としてP19

「NETIS技術」と「NETIS掲載期間終了技術」の集計結果、以下の件数となった。

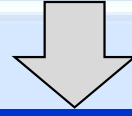
集 計 ⇒ 「 20 」件

3-11. 一次選定工法一覧表の作成

一次選定工法 「 20 」件の一覧表を作成した。

例としてP20

4. 二次選定



4-1. 二次選定基準の設定

現場条件の整理等により、下記の二次選定基準を設定した。

【二次選定基準】

- ① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術
- ② 壁高10m超に対応可能な技術
- ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)

4-2. 二次選定基準に対する評価および選定

一次選定工法に対し、二次選定基準に基づき、NETIS掲載情報および開発会社等へヒアリングを行い、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

二次選定の結果 ⇒ 「 5 」件

1. ○○○○
2. △△△△
3. □□□□
4. ▼▼▼▼
5. ◇◇◇◇

例としてP21

5. 比較検討

5-1. 二次選定比較表の作成

NETIS情報およびヒアリング結果より、二次選定比較表の作成を行った。

例としてP22

6. 結論

6-1. 結論

工法比較検討の結果について、取りまとめを行った。

例としてP23

◆キーワードによるNETIS検索および検索結果の出力

3-3、3-4. キーワード検索による一次選定基準に対する評価および選定

【一次選定基準】 [補強土壁に該当する技術]

【作業方法】

※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【凡例】

一次選定 : 選定技術
理由 : 未選定技術
(未選定の理由記入)

検索条件

- ・ 検索の範囲 : 全文検索
- ・ 検索対象 : 評価情報 申請情報
- ・ キーワード入力 : 補強土壁

29件検索されました

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
1			有		
2			有		
3					
4			有		
5			有		
6					

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
7					
8					
9			有	[活用促進]	
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

◆一次選定基準に対する評価および選定

3-3、3-4. キーワード検索による一次選定基準に対する評価および選定

【一次選定基準】 [補強土壁に該当する技術]

【作業方法】
※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【凡例】

一次選定 : 選定技術
理由 : 未選定技術
(未選定の理由記入)

検索条件

- ・検索の範囲 : 全文検索
- ・検索対象 : 評価情報 申請情報
- ・キーワード入力 : 補強土壁

29件検索されました

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
1			有		排水材
2			有		一次選定
3					一次選定
4			有		盛土締め 管理
5			有		一次選定
6					盛土材料

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
7					帯状ジオン ンセディク ス補強材
8					基礎地盤の 支持力改 善、沈下抑 制
9			有	[活用促進]	法面保護・ 土砂拘束
10					一次選定
11					一次選定
12					一次選定
13					間伐材利用 残存型枠
14					軟弱地盤補 強用ジオテ キスタイル
15					一次選定
16					プレキャスト 防護柵基礎

◆一次選定工法の集計

キーワード毎に選定した結果、同じ工法が重複しているため、整理し集計を行った。

* 一次選定工法の重複整理(キーワード検索)

キーワード検索(例)

番号	キーワード		
	補強土壁	テールアルメ	ジオテキスタイル
1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)
2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)
3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	EEEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)
4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)
5	EEEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)		FFFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)
6	FFFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)		GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)
7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		LLLLL工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VR)
8	HHHHH工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		MMMMM工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VR)
9	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)		
10	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		
11	KKKKK工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		
12	LLLLL工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VR)		
13	MMMMM工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VR)		
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
計	13	4	8
重複	-	4	8

工法数合計(のべ) 25

-

工法重複数合計 12

=

工法数 13 件

◆工種分類の集計

工法は違っても、同じ工種分類が重複して登録されているため、整理し集計を行う

3-5. キーワードによる一次選定工法の工種分類抽出

凡例 重複している工種分類

番号	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法
1	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇
2	〇〇-〇〇-〇〇-〇×	〇〇-××-〇×		〇〇-〇〇-××
3	〇〇-〇〇-〇〇-××	〇〇-××-××		
4				
5				
	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法
1	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇
2	〇〇-〇〇-〇〇-〇×	〇〇-△△	〇〇-〇〇-〇〇-〇×	
3				
4				
5				
	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法	〇〇〇工法
1	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	〇〇-〇〇-××-××	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇
2	〇〇-〇〇-〇〇-〇×	〇〇-〇〇-△△-××		〇〇-〇〇-〇〇-〇×
3	〇〇-△×			〇〇-〇〇-〇〇-××
4	〇〇-〇〇-〇×			
5				
計	26			
重複	15			
工種分類	11			

工種分類合計(のべ) 26

－

工種分類重複合計 15

=

工種分類数 11 件

◆工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

3-6、3-7. 工種分類検索による一次選定基準に対する評価および選定

【一次選定基準】 [補強土壁に該当する技術] 【作業方法】 ※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。	【凡例】 一次選定 : 選定技術 理由 : 未選定技術 (未選定の理由記入)
---	--

検索条件	
・検索対象	: 評価情報 申請情報
・技術の区分	: 工法 材料 機械 製品 システム
・工種分類の選択-単一分類	: ○○-○○-○○-○○

14件検索されました

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
1			有		
2					
3					
4			有	[活用促進]	
5					
6					

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13			有		
14			有		

◆一次選定基準に対する評価および選定

3-6、3-7. 工種分類検索による一次選定基準に対する評価および選定

【一次選定基準】 [補強土壁に該当する技術]	【凡例】 一次選定 : 選定技術 理由 : 未選定技術 (未選定の理由記入)
【作業方法】 ※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。	

検索条件	
・検索対象	: 評価情報 申請情報
・技術の区分	: 工法 材料 機械 製品 システム
・工種分類の選択-単一分類	: ○○-○○-○○-○○

14件検索されました

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
1			有		一次選定
2					一次選定
3					耐候性大型 土のう
4			有		法面保護・ 土砂拘束
5					一次選定
6					一次選定

技術名称(登録番号)	事前 審査	試行 実証 評価	活用 効果 評価	技術の 位置付け	判 定
7					一次選定
8					一次選定
9					一次選定
10					一次選定
11					クレーンモ ード自動切替 装置付パッ クホウ
12					一次選定
13					鋼製法枠に よるドレーン 工
14					垂直擁壁

◆工種分類の重複整理

一次選定工法が重複しているため、整理し集計を行う

* 一次選定工法の重複整理(工種分類検索)

凡例 重複している工種分類

工		種		分		類	
①	〇〇-〇〇-〇〇-〇〇	②	〇〇-〇〇-〇〇-〇×	③	〇〇-〇〇-〇〇-××		
1	AAA工法	1	CCC工法	1	DDD工法		
2	BBB工法	2	EEE工法	2	FFF工法		
3	CCC工法	3		3	GGG工法		
4	DDD工法	4		4			
5		5		5			
6		6		6			
7		7		7			
8		8		8			
9		9		9			
10		10		10			
計	4	計	2	計	3		
重複	—	重複	1	重複	1		
工法数合計(のべ) 26		—	工法重複数合計 13		=	工法数 13 件	

◆NETIS掲載期間終了技術リストの検索

3-8、3-9. NETIS掲載期間終了技術検索による一次選定基準に対する評価および選定 NETIS掲載期間終了技術リストより、技術の抽出を行う

- ・「公共工事における新技術活用システム実施要領」（以下、「実施要領」という）で定めるNETIS掲載期間を終了した技術を掲載します。
ただし、平成27年度以前に掲載期間を終了した技術で、申請者に掲載意思の確認が取れていない技術は掲載していません。
- ・掲載されている技術は、実施要領で定める技術ではありませんので、実施要領でいう「新技術の活用」の対象とはなりません。
- ・掲載されている技術に関する情報は、NETIS掲載期間終了後から更新しません。

※評価済みの技術については、「活用状況」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

番号	NETIS登録時の技術名称	旧NETIS番号	分類1	分類2	開発会社(問合せ先) <small>※()内の開発会社名は、掲載期間終了後、登録申請者からの報告に基づく情報です。 内容について国交省が責任を有するものではありません。</small>	技術の優位性 (技術の位置付け)	※ 活用状況	NETISからの 削除日
1	KKKKK工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	コンクリート工	コンクリート工	[活用促進]	☆	H29.4.20
2	LLLLL工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	コンクリート工	河川海岸	評価済み	☆	H29.4.20
3	MMMMM工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	共通工		評価済み	◎	H29.4.20
4	NNNNN工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	コンクリート工	河川海岸	評価済み	◎	H29.4.20
5	〇〇〇〇〇工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工		[活用促進]	◎	H29.4.20
6	PPPPP工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	付属施設	付属施設	[H26準推奨][活用促進]	◎	H29.4.20
7	QQQQQ工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	コンクリート工	道路維持修繕工	評価済み	◎	H29.4.20
8	RRRRR工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	環境対策工	河川維持	評価済み	◎	H29.4.20
9	SSSSS工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工		[H27準推奨][H23活用促進(旧)][活用促進]	◎	H29.4.20
10	TTTTT工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工		[H26活用促進(旧)][活用促進]	◎	H29.4.20

◆一次選定工法の集計(キーワード・工種分類の重複整理およびNETIS掲載期間終了技術)

凡例 重複して選定した工法

①	キーワード検索	②	工種分類検索	③	NETIS掲載期間終了技術検索		
1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	KKKKK工法		
2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	LLLLL工法		
3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	MMMMM工法		
4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	NNNNN工法		
5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	OOOOO工法		
6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	PPPPP工法		
7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	QQQQQ工法		
12	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	12	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	9			
13	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	13	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	10			
計	13	計	13	計	7		0
重複	—	重複	13	重複	0	重複	0

工法数合計(のべ) 33 — 工法重複数合計 13 = 工法数 20 件

◆一次選定工法一覧表の作成

3-11. 一次選定工法一覧表

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	備考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	
5	EEEEEE工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	
6	FFFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	

◆二次選定基準に対する評価および選定

4. 二次選定表

4-1、4-2. 二次選定基準の設定による評価および選定

- ① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術
 ② 壁高10m超に対応可能な技術
 ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	二次選定基準評価結果	二次選定	選 定 理 由	備 考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → × ② 壁高10m超に対応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	緑化(鋼製)壁面材のため、選定しない。	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → × ② 壁高10m超に対応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	壁面材が樹脂製のジオセルであるため、選定しない。	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → × ② 壁高10m超に対応可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	海岸近傍等の塩害対策に有効な技術であるため、選定しない。	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → ○ ② 壁高10m超に対応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての基準を満足するため、選定する。	
5	FFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → × ② 壁高10m超に対応可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	壁面材はかご工となっており、壁高10m超に対応できないため、選定しない。	
6	GGGGG工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	① 道路(高盛土)に適し、コンクリート壁面材(2次製品)の技術 → × ② 壁高10m超に対応可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	擁壁下部が切土となる場合に有効な技術であり、高盛土には不適であるため、選定しない。	

◆二次選定比較表の作成

※ 開発者等に単価等をヒアリングし、比較表を作成

5-1. 二次選定比較表の作成

工 法 名		従来技術(補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁等))	AAAAA工法	BBBBB工法	CCCCC工法
登 録 番 号	-	〇〇-〇〇〇〇〇-A	〇〇-〇〇〇〇〇-V	NETIS掲載期間終了技術	
開 発 会 社	-	□□□□会社	△△△△会社	〇〇〇〇会社	
技 術 概 要	補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁等)は、土(地盤)の中に補強材を敷設して、土と補強材との間に発生する摩擦力等によって補強した盛土とコンクリート壁面材(二次製品)を一体化した技術である。				
特 長 所 ・ 短 所					
概 算 工 事 費	施 工 費				
	材 料 費				
	特 許 料				
	合 計				
	工 事 費				
概 算 施 工 日 数					
経 済 性		向上○%	向上○%	向上○%	
工 程		短縮○%	短縮○%	短縮○%	
品 質 ・ 出 来 形		向上	向上	向上	
安 全 性		向上	向上	向上	
施 工 性	特 殊 機 械	有	有	有	
	施 工 性	向上	向上	向上	
環 境 (景 観 性)		向上	向上	向上	
開 発 地 域 (地 整) ※開発会社の本社所在地とする					
留 意 事 項					
施 工 実 績 (過去3年程度)	国 土 交 通 省	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	地 方 自 治 体	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	そ の 他	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
特 許 等	特 許	-	-	-	-
	特 許 使 用 料	-	-	-	-
	実 施 権 設 定	-	-	-	-
備 考					

従来技術は
現場条件を
考慮し設定

ヒアリング等により作成

例

◆結論

※ 二次選定比較表より、工法選定の重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

現場条件に該当する技術は、○技術が選定された。
以下、工法選定の重要事項について、二次選定表より抜粋した。
また、NETISより活用効果評価結果を別資料として添付する。

工 法 名	○○○○	△△△△	□□□□	▽▽▽▽	◇◇◇◇	☆☆☆☆
登 録 番 号	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	NETIS掲載期間終了技術
技術の位置付け(有用な新技術)	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術]	[設計比較対象技術] [活用促進技術]		
概 算 工 事 費	○○、○○○円/m ²	△△、△△△円/m ²	□□、□□□円/m ²	▽▽、▽▽▽円/m ²	◇◇、◇◇◇円/m ²	☆☆、☆☆☆円/m ²
概 算 施 工 日 数	○○m ² /日	△△m ² /日	□□m ² /日	▽▽m ² /日	◇◇m ² /日	☆☆m ² /日
施 工 実 績 (過去3年程度)	国土交通省	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
	地方自治体	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
	そ の 他	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)	全国 ○○○ m ² ○○ m ³)
留 意 事 項		材料の注文から納品まで、 2箇月程度必要		特殊機械及び○○資格者 による特殊な施工となり、施 工業者に制限がある。		

工法選定の留意点

- ① 上表の概算工事費及び概算施工日数は、施工規模○○m²以上の場合とする。なお、工事費は概算であり、実際の積算には使用できない。
- ② 『△△△△』の材料は受注生産となり、注文から納品まで2箇月程度必要となる。
- ③ 『▽▽▽▽』については、特殊機械及び○○資格者による特殊な施工となり、施工業者に制限がある。